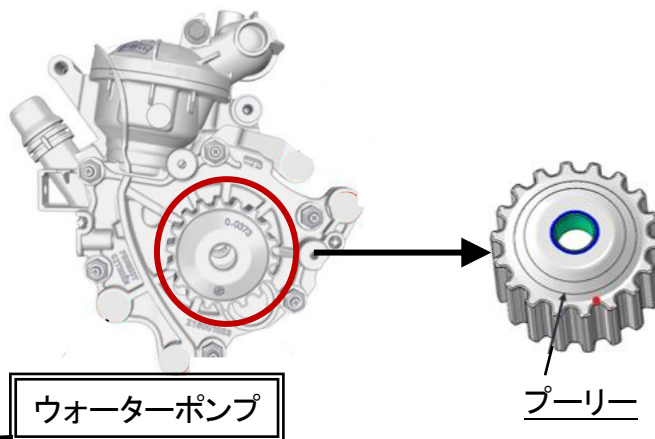


改善箇所説明図



 対策部位

基準不適合部位

エンジンのウォーターポンプにおいて、プーリーの設計検討が不十分なため、プーリーとシャフトの嵌合が不足しているものがある。そのため、そのまま使用を続けると、プーリーが外れてタイミングベルトがゆるみ、エンジン警告灯が点灯し、最悪の場合、エンジンが停止するおそれがある。

改善の内容

全車両、ウォーターポンプを対策品に交換する。

識別：運転者席側ドアロック・ストライカ付近に当該リコールの識別ステッカを貼付する。(フィアット)
車台番号の左から7桁目の上部に白色のペイントを塗る。(シトロエン)